

2012年5月8日

2012年3月期決算の概要と 2013年3月期見通しについて

東レ株式会社



I. 2012年3月期決算の概要

2012年3月期連結決算概要	(P3)
売上高・営業利益の推移	(P4)
総資産・D/Eレシオ、ROA・ROE	(P5)
営業外収支	(P6)
特別損益	(P7)
資産・負債・純資産、フリー・キャッシュ・フロー	(P8)
セグメント別売上高・営業利益	(P9)
セグメント別業績	(P10-17)
営業利益増減要因分析	(P18)
主要子会社収益状況	(P19)
従業員数、関係会社の異動	(P20)

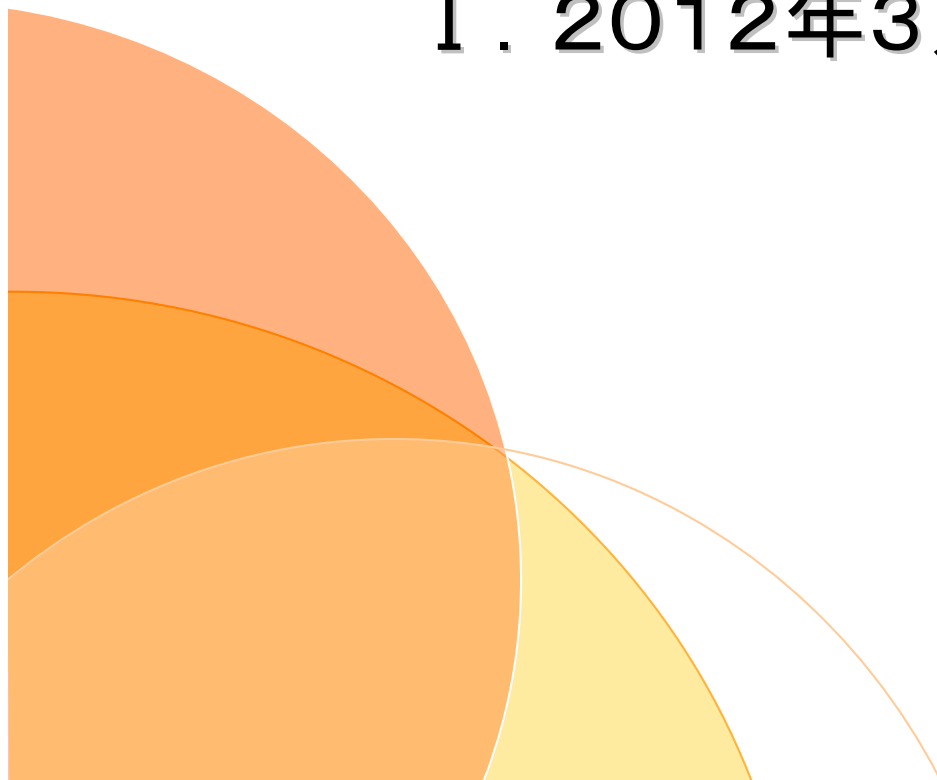
II. 2013年3月期業績見通し

2013年3月期連結業績見通し	(P22)
セグメント別業績見通し	(P23)
設備投資額・減価償却費・研究開発費の推移	(P24)

III. “プロジェクトAP-G 2013” 進捗状況

“AP-G 2013”の基本思想と基本戦略	(P26)
“AP-G 2013”の全社プロジェクト進捗状況	(P27-30)
業績指標の目標	(P31)
営業利益の推移	(P32)

I . 2012年3月期決算の概要



2012年3月期連結決算概要

単位：億円

	11年3月期			12年3月期			通期増減
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上高	7,334	8,063	15,397	7,998	7,888	15,886	+489 (+3.2%)
売上原価	5,869	6,419	12,288	6,280	6,331	12,611	+323 (+2.6%)
売上総利益	1,465	1,644	3,109	1,718	1,557	3,275	+166 (+5.3%)
(売上高総利益率)	20.0%	20.4%	20.2%	21.5%	19.7%	20.6%	+0.4 ポイント
販売費及一般管理費	1,040	1,069	2,108	1,084	1,114	2,198	+89 (+4.2%)
(売上高販管費比率)	14.2%	13.3%	13.7%	13.6%	14.1%	13.8%	+0.1 ポイント
営業利益	425	576	1,001	634	443	1,077	+76 (+7.6%)
(売上高営業利益率)	5.8%	7.1%	6.5%	7.9%	5.6%	6.8%	+0.3 ポイント
営業外収支	▲ 21	9	▲ 12	21	0	21	+33
経常利益	405	584	989	655	443	1,098	+110 (+11.1%)
特別損益	▲ 45	▲ 115	▲ 160	▲ 31	▲ 57	▲ 88	+72
税前利益	359	470	829	624	387	1,011	+182 (+22.0%)
当期純利益	249	330	579	401	241	642	+63 (+10.9%)
1株当たり 当期純利益	16.0円	20.3円	36.4円	24.6円	14.8円	39.4円	
1株当たり配当金	2.5円	5.0円	7.5円	5.0円	5.0円	10.0円	

為替レート

<円/US\$>

(前期) → (当期)

期中平均 : 85.7 → 79.1

期末 : 83.2 → 82.2

<円/ユーロ>

(前期) → (当期)

期中平均 : 113.1 → 109.0

期末 : 117.6 → 109.8

原油価格

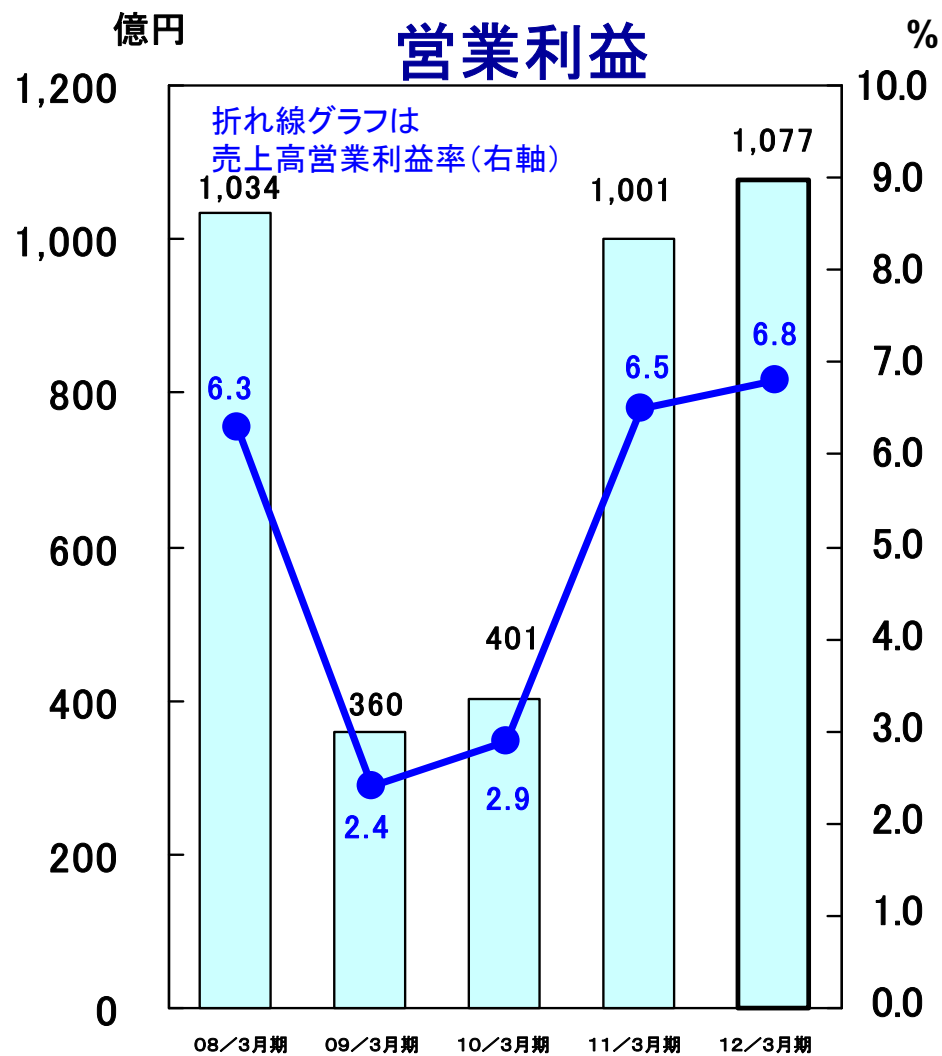
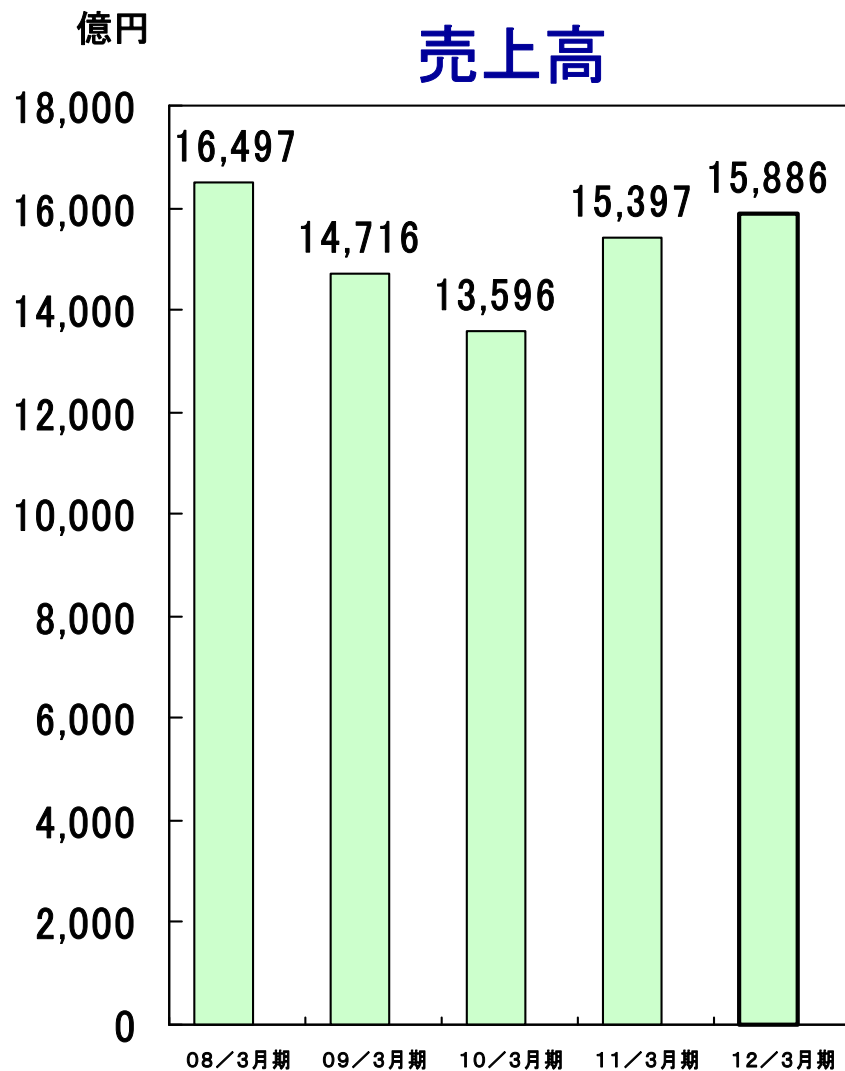
<US\$/バレル> (DUBAI FOB)

(前期) → (当期)

期中平均 : 84.2 → 110.1

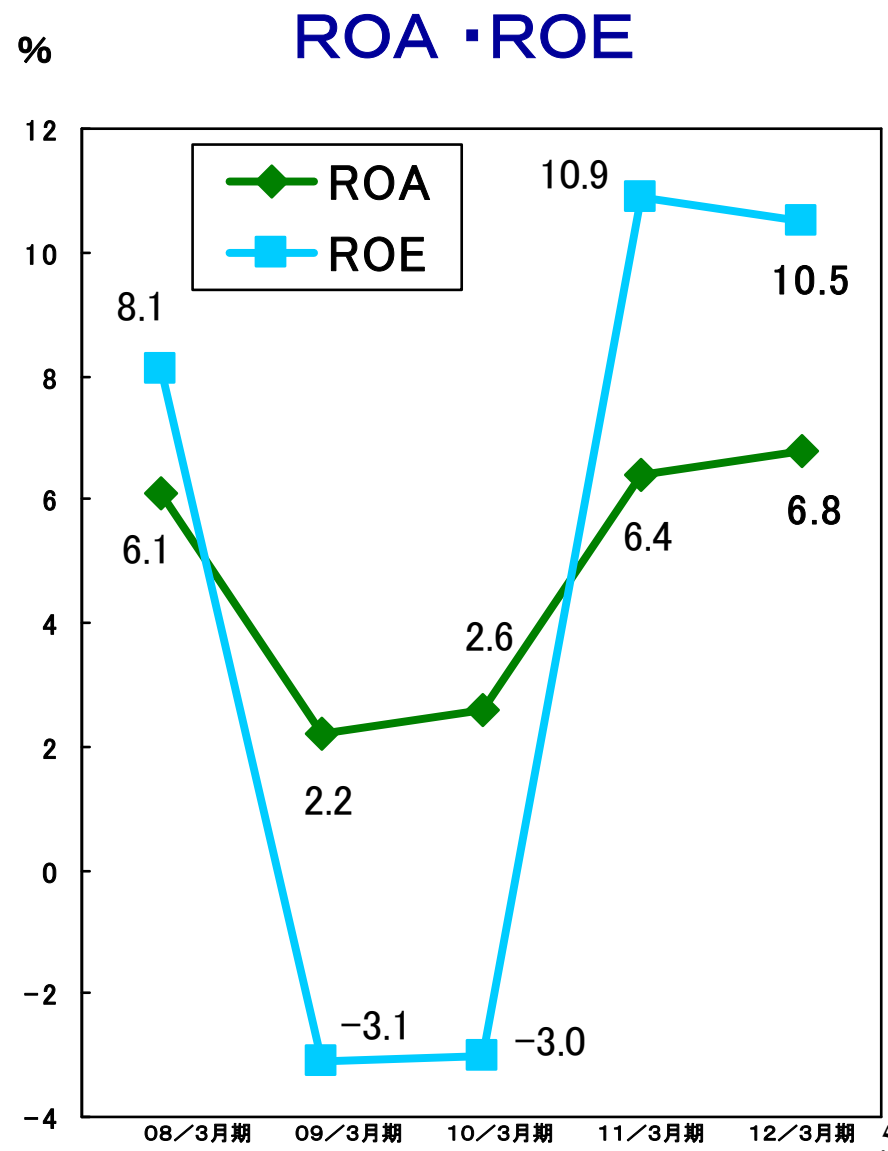
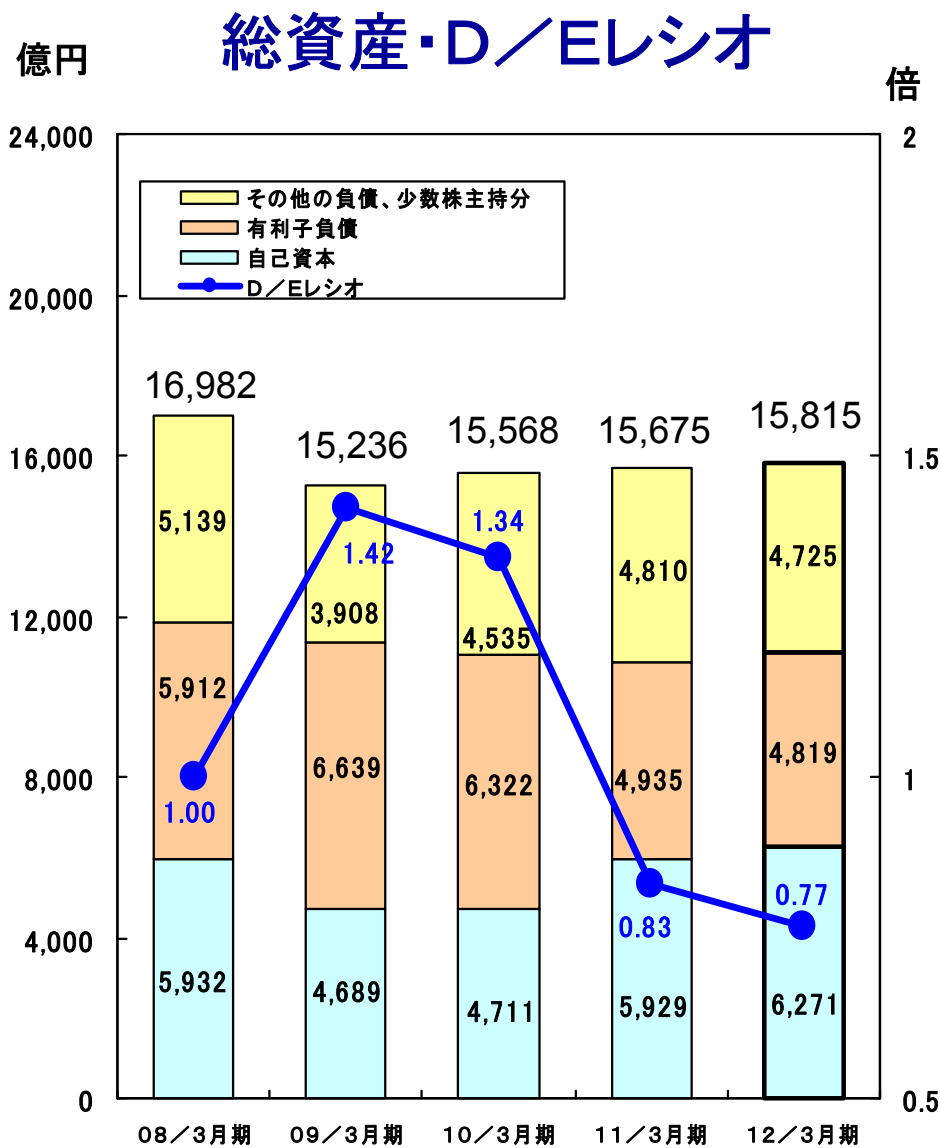
* 3月決算会社は4~3月の業績、12月決算会社は1~12月の業績を連結

売上高・営業利益の推移



総資産・D/Eレシオ、ROA・ROE

ROA=営業利益/総資産
ROE=当期純損益/自己資本



営業外収支

億円

	11年3月期	12年3月期	増減
営業外収益	144	142	-2
受取利息及び配当金	28	32	+4
持分法による投資利益	63	52	-11
雑収入	54	58	+4
営業外費用	▲ 156	▲ 121	+35
支払利息	▲ 64	▲ 58	+6
休止設備関連費用	▲ 24	▲ 15	+9
雑損失	▲ 68	▲ 48	+20
営業外収支	▲ 12	21	+33
金融収支	▲ 36	▲ 26	+11

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

特別損益

億円

	11年3月期	12年3月期	増減
特別利益	31	7	-24
有形固定資産売却益	14	5	-9
投資有価証券売却益	17	2	-15
その他	-	0	+0
特別損失	▲ 191	▲ 95	+96
有形固定資産処分損	▲ 45	▲ 46	-1
減損損失	▲ 22	▲ 2	+20
災害による損失	▲ 19	▲ 12	+6
投資有価証券評価損	▲ 35	▲ 2	+33
関係会社事業損失	▲ 5	▲ 5	+1
事業構造改善費用	▲ 44	▲ 16	+28
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	▲ 14	-	+14
その他	▲ 6	▲ 11	-5
ネット特別損益	▲ 160	▲ 88	+72

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

資産・負債・純資産、フリー・キャッシュ・フロー

億円

	11年3月末	12年3月末	増減
資産合計	15,675	15,815	+140
流動資産	7,241	7,262	+22
有形固定資産	5,316	5,619	+303
無形固定資産	93	426	+333
投資その他	3,025	2,507	-518

	11年3月末	12年3月末	増減
負債合計	9,265	9,074	-191
流動負債	5,030	5,158	+129
固定負債	4,235	3,915	-320
純資産合計	6,410	6,741	+332

<フリー・キャッシュ・フローの状況>

億円

	11年3月期	12年3月期	増減
営業活動	1,292	1,044	-248
投資活動	▲507	▲1,040	-533
フリー・キャッシュ・フロー	785	4	-781

セグメント別売上高・営業利益

単位：億円

		売上高			営業利益			
		11年 3月期	12年 3月期	増減 (%)	11年 3月期	12年 3月期	増減 (%)	
繊維	上期	2,731	3,075	+344 (+12.6%)	136	227	+92 (+67.8%)	
	下期	3,111	3,309	+198 (+6.4%)	189	226	+37 (+19.5%)	
	通期	5,841	6,384	+543 (+9.3%)	324	453	+129 (+39.7%)	
プラスチック・ケミカル	上期	1,865	2,065	+199 (+10.7%)	121	164	+43 (+35.9%)	
	下期	1,958	1,914	-44 (-2.2%)	150	110	-41 (-27.1%)	
	通期	3,823	3,978	+155 (+4.1%)	271	274	+3 (+1.0%)	
情報通信材料・機器	上期	1,362	1,300	-61 (-4.5%)	213	197	-16 (-7.3%)	
	下期	1,259	1,134	-125 (-9.9%)	209	148	-62 (-29.4%)	
	通期	2,620	2,434	-186 (-7.1%)	422	345	-77 (-18.3%)	
炭素繊維複合材料	上期	319	363	+45 (+14.0%)	12	50	+38 (+305.8%)	
	下期	351	336	-16 (-4.4%)	20	26	+6 (+29.0%)	
	通期	670	699	+29 (+4.3%)	33	77	+44 (+133.5%)	
環境・エンジニアリング	上期	735	853	+118 (+16.1%)	▲ 15	42	+57 (-)	
	下期	1,047	850	-198 (-18.9%)	49	7	-42 (-85.9%)	
	通期	1,782	1,702	-79 (-4.5%)	33	49	+15 (+45.8%)	
ライフサイエンス	上期	255	275	+20 (+7.8%)	33	42	+9 (+27.3%)	
	下期	269	280	+11 (+4.2%)	28	17	-11 (-37.9%)	
	通期	524	556	+31 (+6.0%)	61	60	-1 (-2.4%)	
その他	上期	68	67	-1 (-1.4%)	4	5	+1 (+15.2%)	
	下期	69	66	-2 (-3.3%)	6	9	+2 (+35.3%)	
	通期	136	133	-3 (-2.4%)	10	13	+3 (+27.4%)	
調整額	上期				▲ 78	▲ 94	-16	
	下期				▲ 77	▲ 99	-23	
	通期				▲ 155	▲ 194	-39	
連結	上期	7,334	7,998	+664 (+9.1%)	425	634	+209 (+49.1%)	
	下期	8,063	7,888	-175 (-2.2%)	576	443	-133 (-23.0%)	
	通期	15,397	15,886	+489 (+3.2%)	1,001	1,077	+76 (+7.6%)	

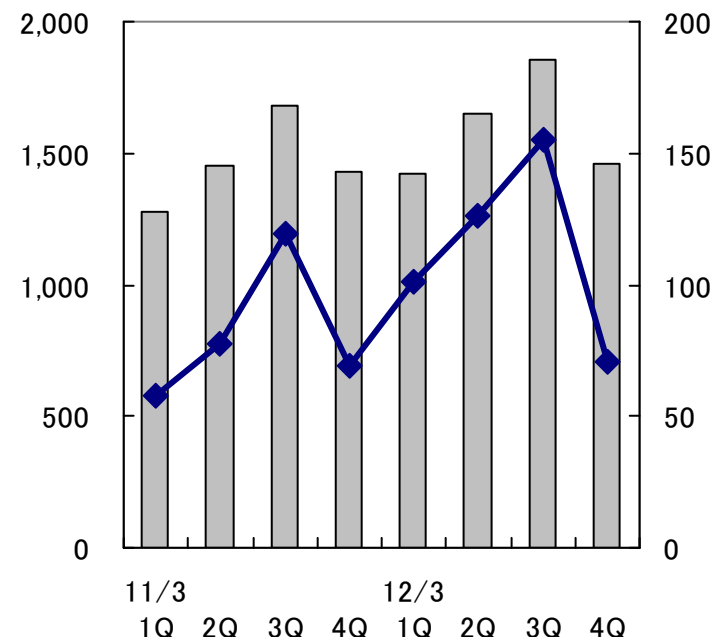
セグメント別業績(繊維)

単位: 億円

		11年3月期	12年3月期	増減	
売上高	東レ	1,016	1,038	+22	(+2.2%)
	国内	3,005	3,281	+276	(+9.2%)
	海外	1,820	2,065	+245	(+13.4%)
	計	5,841	6,384	+543	(+9.3%)
営業利益	東レ	89	118	+29	(+32.4%)
	国内	73	116	+43	(+59.8%)
	海外	165	230	+65	(+39.5%)
	修正	▲ 2	▲ 10	-9	
	計	324	453	+129	(+39.7%)

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)



増収増益

国内： 衣料用途は、機能性インナーウェア用途などが堅調に推移。産業用途では、東日本大震災後の自動車メーカーの稼働回復に伴って自動車関連用途向けの販売が復調。

海外： タイの洪水の影響を生産・販売面で受けたものの、中国やアセアンのポリエステル長繊維・短繊維事業、衣料用織物事業、韓国や中国の紙おむつ向けポリプロピレン不織布事業、タイやチェコのエアバッグ用基布事業、イタリアのスエード調人工皮革事業等の各事業が、拡販や高付加価値品へのシフトを進めた結果、衣料用途・産業用途とも総じて堅調に推移。

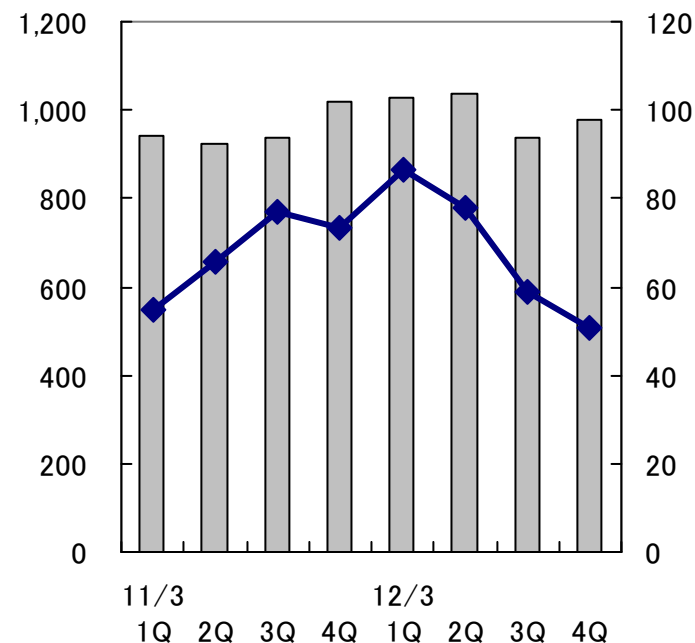
セグメント別業績(プラスチック・ケミカル)

単位: 億円

		11年3月期	12年3月期	増減	
売上高	東レ	760	813	+52	(+6.9%)
	国内	1,376	1,418	+42	(+3.0%)
	海外	1,686	1,747	+61	(+3.6%)
	計	3,823	3,978	+155	(+4.1%)
営業利益	東レ	51	45	-6	(-11.3%)
	国内	77	89	+13	(+16.7%)
	海外	146	136	-10	(-6.9%)
	修正	▲ 3	3	+6	
	計	271	274	+3	(+1.0%)

売上高
〈棒グラフ〉

営業利益
〈線グラフ〉
(億円)



増収増益

樹脂事業：国内を中心に東日本大震災の影響を受け減少した自動車関連用途への販売量が、第2四半期以降は回復するも、海外では、汎用ABS樹脂が世界的な景気減速を背景に需要が低迷。

フィルム事業：第2四半期までは、国内では工業材料用途、包装材料用途とも総じて堅調に推移し、海外でも米国や欧州、アジアでの拡販を推進。第3四半期以降は、内外ともに世界的な景気減速等の影響で需要が減退するとともに価格競争が激化。

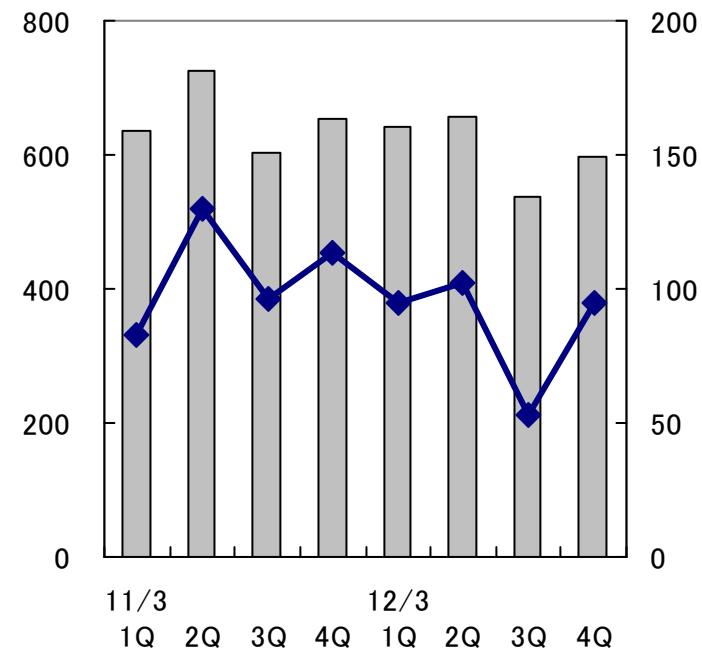
セグメント別業績(情報通信材料・機器)

単位: 億円

		11年3月期	12年3月期	増減	
売上高	東レ	1,098	1,001	-98	(-8.9%)
	国内	779	724	-56	(-7.2%)
	海外	743	710	-33	(-4.4%)
	計	2,620	2,434	-186	(-7.1%)
営業利益	東レ	258	216	-43	(-16.5%)
	国内	57	47	-10	(-18.3%)
	海外	105	83	-22	(-21.2%)
	修正	2	▲ 0	-2	
	計	422	345	-77	(-18.3%)

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)



減収減益

スマートフォン用等の中・小型ディスプレイ関連部材は堅調に推移するも、薄型テレビ市場の低迷によるパネル生産調整の影響等から、フィルム及びフィルム加工品をはじめ液晶及びPDPテレビ関連製品は低調に推移。

情報通信材料・機器セグメントの売上高の詳細

【サブセグメント別売上高比率】

単位：億円

	11 / 3期		12 / 3期		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
ディスプレイ材料	1,056	40%	903	37%	-14%
電子部品・半導体・回路材料	927	35%	862	35%	-7%
記録材料	328	13%	341	14%	+4%
機器他	309	12%	328	13%	+6%
情報通信材料・機器セグメント合計	2,620		2,434		-7%

ディスプレイ材料：フィルム及びフィルム加工品をはじめ液晶及びPDPテレビ関連製品が低調に推移。

電子部品・半導体・回路材料：電子部品用フィルム及び回路材料を中心に、低調に推移。

記録材料：熱転写リボン用フィルムの拡販を推進。

機器他：液晶カラーフィルター製造装置の出荷が増加。

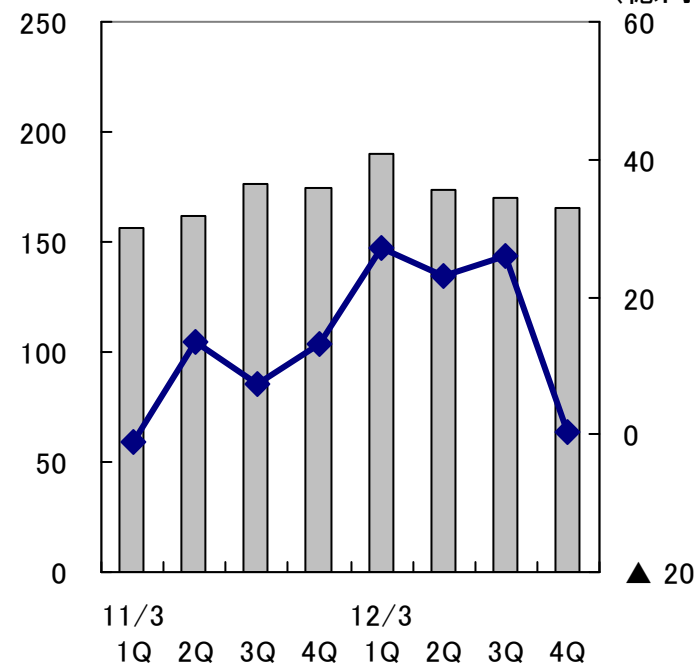
セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

単位: 億円

		11年3月期	12年3月期	増減	
売上高	東レ	520	564	+44	(+8.4%)
	国内	387	431	+44	(+11.3%)
	海外	509	562	+53	(+10.3%)
	修正	▲ 746	▲ 857	-111	
	計	670	699	+29	(+4.3%)
営業利益	東レ	22	30	+9	(+40.7%)
	国内	4	4	-0	(-10.3%)
	海外	16	43	+27	(+165.8%)
	修正	▲ 9	▲ 0	+9	
	計	33	77	+44	(+133.5%)

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)



本セグメントでは、日米欧3拠点のグローバルオペレーションの規模が大きく、実態を正しく表すために、内部売上高の消去を外枠で記載しています。

増収増益

円高進行の影響はあったものの、航空機需要の拡大、圧縮天然ガスタンク等環境・エネルギー関連需要の拡大が進む中で、航空宇宙用途、一般産業用途への拡販を推進。また、上期には、スポーツ用途、一般産業用途の汎用品を中心に、販売価格の値戻しを実施。一方、スポーツ用途については、下期以降の国内外での景気低迷の影響を受け、需要は弱含みで推移。

炭素繊維複合材料セグメントの売上高の詳細

【サブセグメント別売上高比率】

単位：億円

	1 1 / 3 期		1 2 / 3 期		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	277	41%	267	38%	-4%
スポーツ	138	21%	133	19%	-4%
一般産業	255	38%	299	43%	+17%
炭素繊維計	670		699		+4%

航空宇宙：ボーイング、エアバスの既存機向けに加え、ボーイング787向け出荷も順調に推移するも、円高の影響を受けた。

スポーツ用途：サプライチェーンにおける在庫調整の影響を受けた。

一般産業：圧縮天然ガスタンク用途等を中心に出荷が堅調に推移。コンポジット製品では、パソコン筐体が好調に推移。

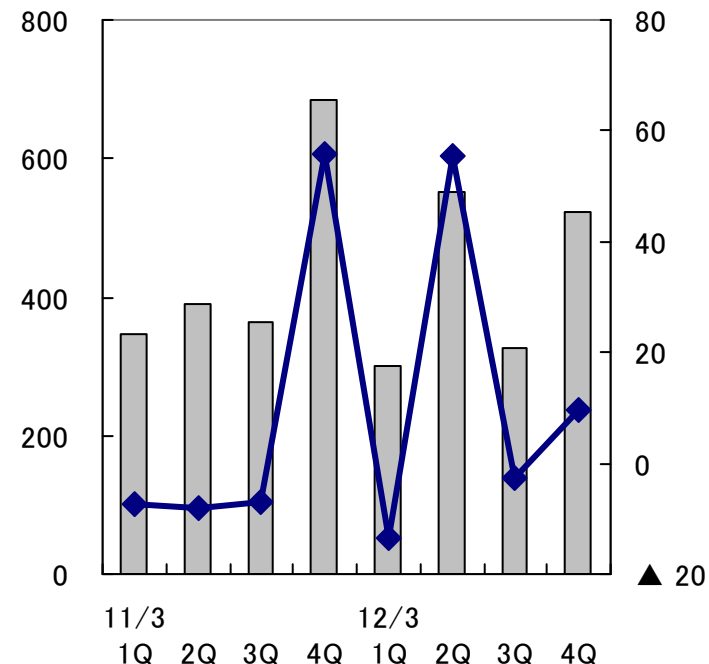
セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

単位: 億円

		11年3月期	12年3月期	増減	
売上高	東レ	100	75	-25	(-25.0%)
	国内	1,641	1,581	-60	(-3.7%)
	海外	41	46	+6	(+14.0%)
	計	1,782	1,702	-79	(-4.5%)
営業損益	東レ	▲ 29	▲ 31	-2	(-)
	国内	51	64	+12	(+24.0%)
	海外	▲ 2	▲ 7	-5	(-)
	修正	14	24	+10	
	計	33	49	+15	(+45.8%)

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)



減収増益

東レ : 水処理膜事業では、前期にあった大型案件の出荷がなかったことに加え、円高の影響もあり減収となるも、逆浸透膜をはじめ各種水処理膜の受注活動を世界各地で推進。

国内子会社 : 水処理エンジニアリング子会社の大型案件が順調に進捗し、建設・不動産子会社の販売も拡大。

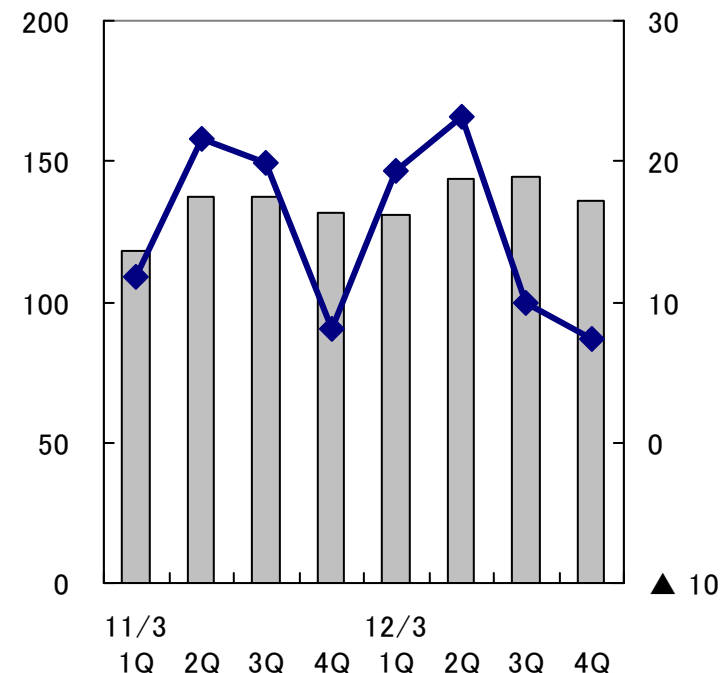
セグメント別業績(ライフサイエンス)

単位: 億円

		11年3月期	12年3月期	増減	
売上高	東レ	140	164	+23	(+16.7%)
	国内	370	378	+8	(+2.2%)
	海外	14	14	-0	(-2.2%)
	計	524	556	+31	(+6.0%)
営業利益	東レ	46	43	-3	(-5.5%)
	国内	13	18	+5	(+41.6%)
	海外	1	0	-1	(-88.0%)
	修正	2	▲ 2	-4	
	計	61	60	-1	(-2.4%)

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)

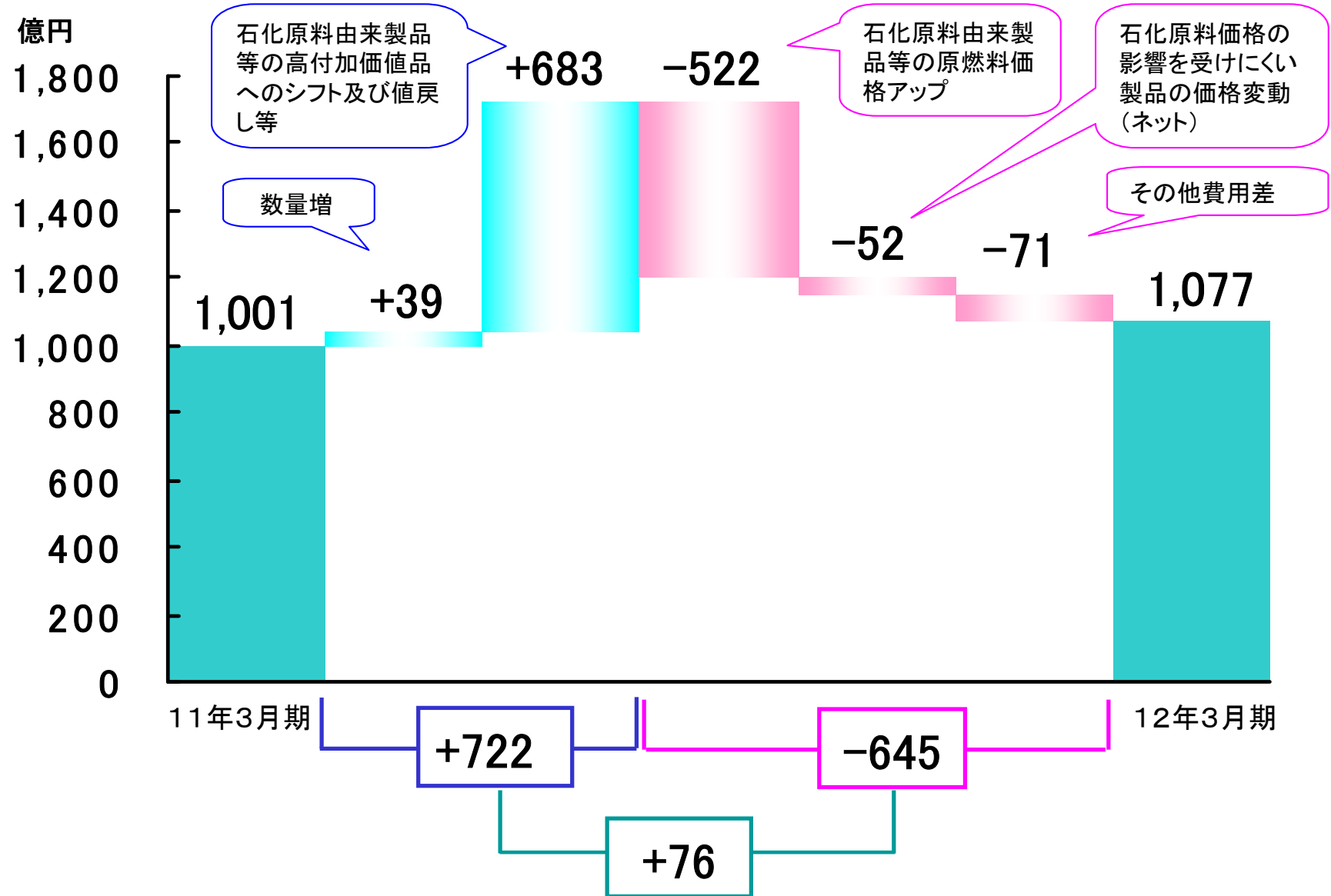


増収利益横這い

ライフサイエンス事業では、血液透析患者向けの経口そう痒症改善剤レミッチ[®]*等の医薬品の拡販に加え、エンドキシン除去向け吸着型血液浄化用浄化器トレミキシン[®]およびポリスルホン膜人工腎臓トレライト[®]等の販売が拡大。

* レミッチ[®]は鳥居薬品株式会社の登録商標です。

営業利益増減要因分析



石化原料由来製品等とは、繊維、プラスチック・ケミカル、炭素繊維複合材料セグメントの合計値。

主要子会社収益状況

億円

	売上高			営業利益		
	11年3月期 年間実績	12年3月期 年間実績	増減	11年3月期 年間実績	12年3月期 年間実績	増減
東レインターナショナル	4,299	4,793	+494	63	92	+30
東レエンジニアリング	755	940	+185	33	41	+8
東レ建設	501	582	+81	13	21	+8
東レフィルム加工	519	468	-51	36	34	-1
東レ・メディカル	373	381	+8	13	18	+5
TAK(韓国)	865	927	+62	145	149	+4
TPM(マレーシア)	640	590	-51	31	3	-29
在東南アジア・子会社 *1						
繊維	882	972	+90	38	57	+18
プラスチック・ケミカル	749	703	-46	63	33	-30
その他	70	65	-5	4	3	-1
計	1,702	1,741	+39	106	93	-12
在中国・子会社 *2						
繊維	1,146	1,314	+168	78	109	+31
プラスチック・ケミカル	480	529	+49	12	8	-3
その他	113	112	-1	2	▲5	-7
計	1,738	1,955	+216	91	112	+21
在外・フィルム子会社 *3						
プラスチック・ケミカル	772	832	+60	90	115	+25
情報通信材料・機器	466	485	+18	92	85	-7
計	1,238	1,317	+78	182	200	+18

*1: ITS、ETX、ISTEM、ACTEM、CENTEX、TPJ、PFR、PAB-G、TTS、LTX、TTTM、TPM 単純合計

*2: TFNL、TSD、TJQ、TPN、TCH、TICH、THK-G、TPCH-G、RKH/RKZ、TFH/TFZ、TBMC、TMQ 単純合計

*3: TAK、PFR、TPA、TFE、TFH/TFZ、TAFK 単純合計

従業員数、関係会社の異動

従業員数

人

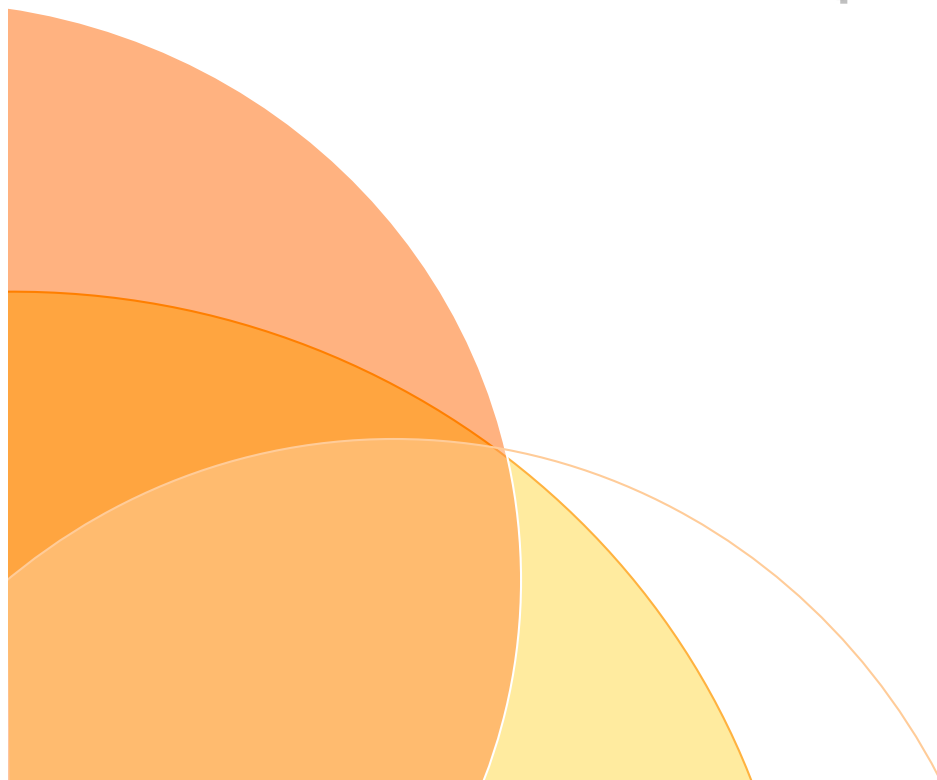
	11年3月末	12年3月末	増減
東レ単体	6,797	6,976	+179
国内連結子会社	10,261	10,303	+42
海外連結子会社	21,682	22,948	+1,266
合計	38,740	40,227	+1,487

関係会社の異動

社

		11年3月末	12年3月末	増減
連結子会社 (a)	国内	59	60	+1
	海外	79	83	+4
	計	138	143	+5
持分法適用子会社 (b)	国内	27	27	±0
	海外	24	24	±0
	計	51	51	±0
子会社計 (a)+(b)	国内	86	87	+1
	海外	103	107	+4
	計	189	194	+5
持分法適用関連会社 (c)	国内	14	13	-1
	海外	23	24	+1
	計	37	37	±0
連結対象会社 合計 (a)+(b)+(c)	国内	100	100	±0
	海外	126	131	+5
	計	226	231	+5

Ⅱ. 2013年3月期業績見通し



2013年3月期連結業績見通し

億円

		12年3月期 実績	13年3月期 見通し	対前年同期比 増減	
売上高	上期	7,998	7,900	-98	(-1.2%)
	下期	7,888	9,400	+1,512	(+19.2%)
	通期	15,886	17,300	+1,414	(+8.9%)
営業利益	上期	634	400	-234	(-36.9%)
	下期	443	750	+307	(+69.3%)
	通期	1,077	1,150	+73	(+6.8%)
経常利益	上期	655	390	-265	(-40.5%)
	下期	443	750	+307	(+69.1%)
	通期	1,098	1,140	+42	(+3.8%)
当期純利益	上期	401	210	-191	(-47.6%)
	下期	241	450	+209	(+86.5%)
	通期	642	660	+18	(+2.8%)

1株当たり 当期純利益	上期	24.6円	12.9円
	下期	14.8円	27.6円
	通期	39.4円	40.5円
1株当たり 配当金	上期	5.0円	5.0円
	下期	5.0円	5.0円
	通期	10.0円	10.0円

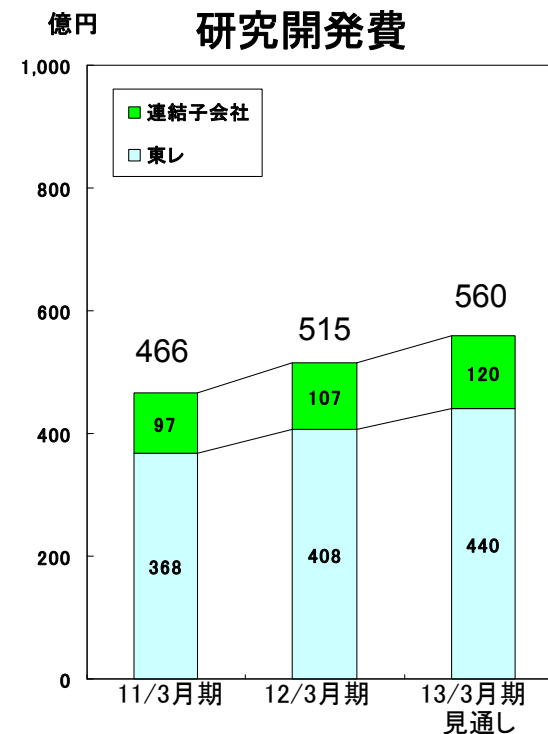
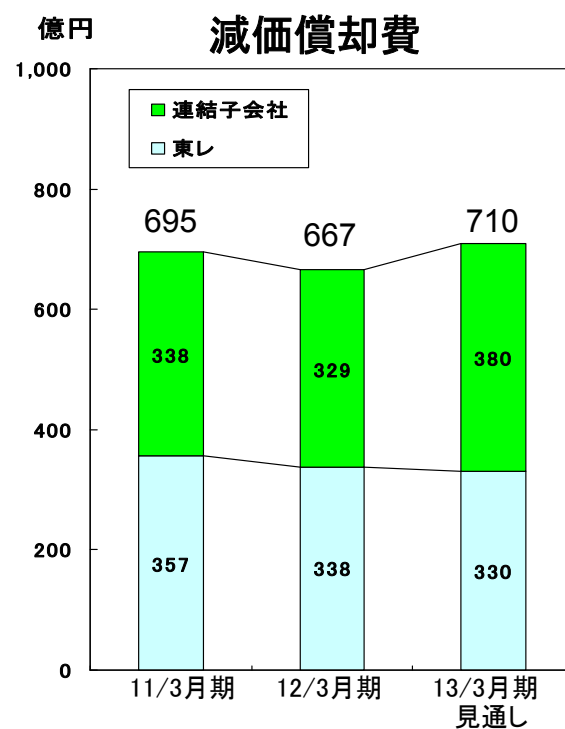
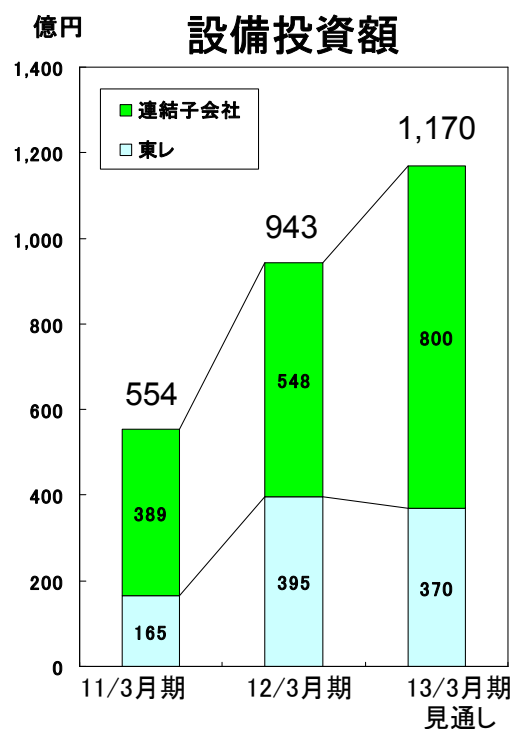
備考： 為替レート的前提は、80円/US\$
原油価格見通しは、110US\$/B
(DUBAI FOB)

セグメント別業績見通し (売上高/営業利益)

億円

		12年3月期 実績			13年3月期 見通し			対前年同期比 増減		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	繊維	3,075	3,309	6,384	3,100	3,700	6,800	+25	+391	+416
	プラスチック・ケミカル	2,065	1,914	3,978	2,100	2,200	4,300	+35	+286	+322
	情報通信材料・機器	1,300	1,134	2,434	1,200	1,500	2,700	-100	+366	+266
	炭素繊維複合材料	363	336	699	400	500	900	+37	+164	+201
	環境・エンジニアリング	853	850	1,702	750	1,100	1,850	-103	+250	+148
	ライフサイエンス	275	280	556	280	320	600	+5	+40	+44
	その他	67	66	133	70	80	150	+3	+14	+17
	連結	7,998	7,888	15,886	7,900	9,400	17,300	-98	+1,512	+1,414
営業利益	繊維	227	226	453	190	300	490	-37	+74	+37
	プラスチック・ケミカル	164	110	274	120	150	270	-44	+40	-4
	情報通信材料・機器	197	148	345	100	210	310	-97	+62	-35
	炭素繊維複合材料	50	26	77	50	70	120	-0	+44	+43
	環境・エンジニアリング	42	7	49	0	60	60	-42	+53	+11
	ライフサイエンス	42	17	60	25	45	70	-17	+28	+10
	その他	5	9	13	10	10	20	+5	+1	+7
	調整額	▲ 94	▲ 99	▲ 194	▲ 95	▲ 95	▲ 190	-1	+4	+4
連結	634	443	1,077	400	750	1,150	-234	+307	+73	

設備投資額・減価償却費・研究開発費の推移



2012年3月期の主な設備投資:

<東レ> 炭素繊維設備

<海外> TAK (Toray Advanced Materials Korea Inc.): 光学用ポリエステル(PET)フィルム設備

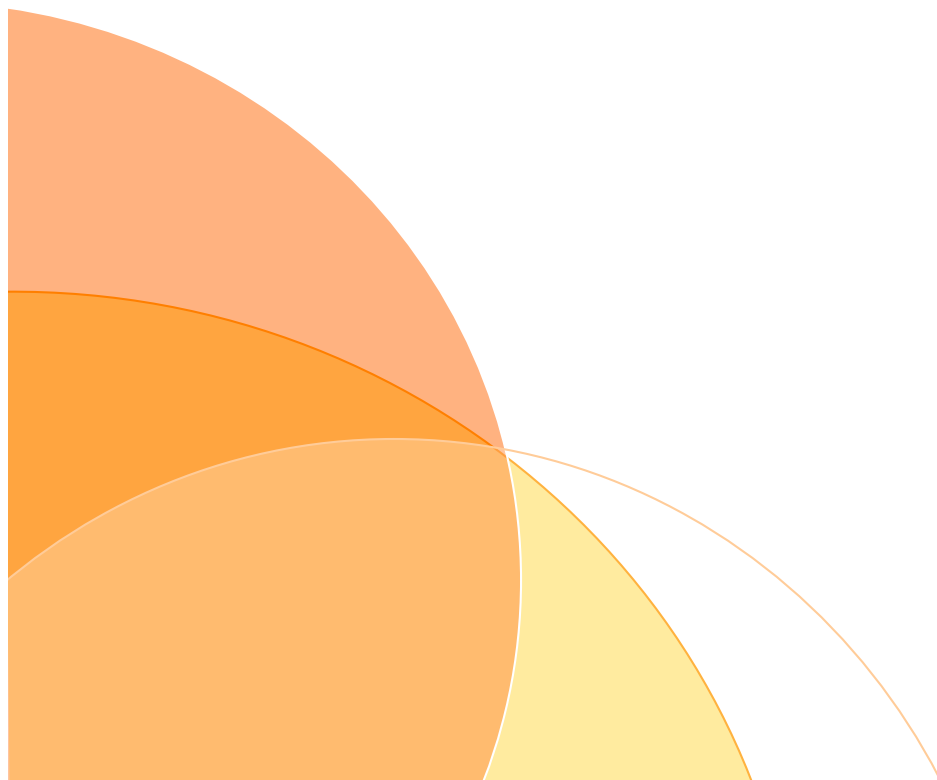
2013年3月期の主な設備投資計画:

<東レ> PPS樹脂設備

<海外> TAK (Toray Advanced Materials Korea Inc.): 炭素繊維設備

TMQ (Toray Medical (Qingdao) Co.,Ltd.): 人工腎臓設備

Ⅲ. “プロジェクトAP-G 2013”進捗状況



基本思想

成長著しい分野および地域での事業拡大

コスト削減等を通じて事業基盤を一層強化

基本戦略

1. 成長分野での事業拡大

2. 成長国・地域での事業拡大

3. 設備投資戦略

4. M&A・アライアンス戦略

5. 研究開発投資戦略

6. 人材育成・確保

7. 競争力強化

8. 事業構造改革の継続推進

“AP-G 2013”の全社プロジェクト

“AP-G 2013”では、グループ横断的な枠組みでの活動により、大きな効果が期待できる3つのテーマについては、全社プロジェクトとして推進

グリーンイノベーション事業拡大 (GR) プロジェクト
地球環境問題や資源・エネルギー問題を解決し、脱石油資源の潮流を捉え、持続可能な低炭素社会の実現に貢献するため、「ケミストリーの力」を駆使してグリーンイノベーション事業をグローバルに展開する

アジア・新興国事業拡大 (AE) プロジェクト
今後大きな経済成長が見込まれるアジアやその他地域の新興国で、当社グループの事業を積極的に展開し、当該国・地域の成長を取り込む

トータルコスト競争力強化 (TC-II) プロジェクト
「持続的に事業収益拡大を実現する企業グループ」として欠かすことのできない強靱な企業体質を確保するためのコスト削減に継続的に取り組む

グリーンイノベーション事業拡大(GR)プロジェクト

「ケミストリーの力」を駆使してグリーンイノベーション事業をグローバルに展開

<トピックス>

<炭素繊維複合材料>

- 炭素繊維のグローバル生産能力増強を決定。
(日・米・仏・韓で生産能力を6,000トン増強)



ボーイング787型機
写真提供:全日本空輸株式会社

<水処理膜>

- シンガポールにおけるアジア最大の海水淡水化プラント向けに逆浸透膜を受注。

<電池用部材>

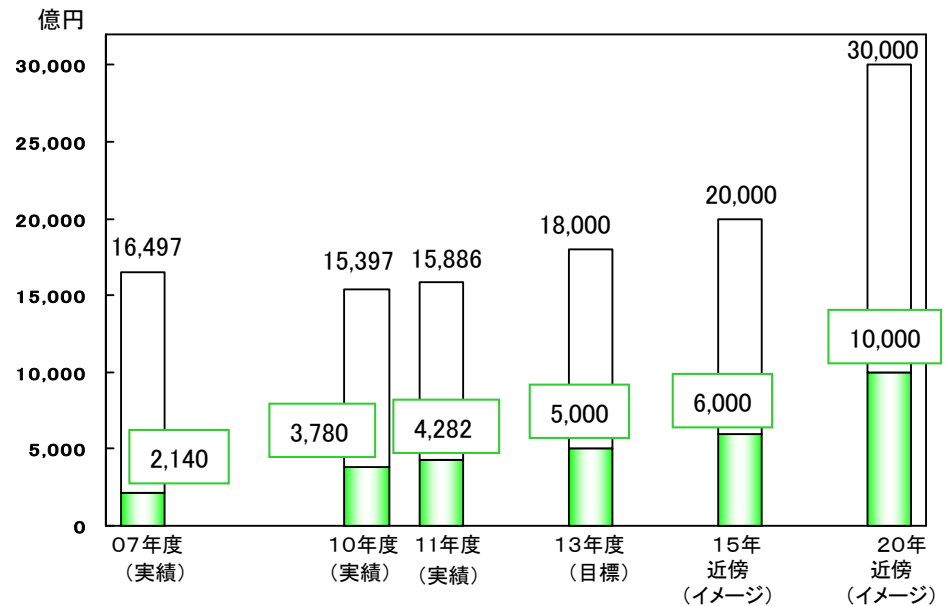
- 東レ東燃機能膜合同会社を100%子会社化し、東レバッテリーセパレータフィルム合同会社を設立。

<バイオマス素材>

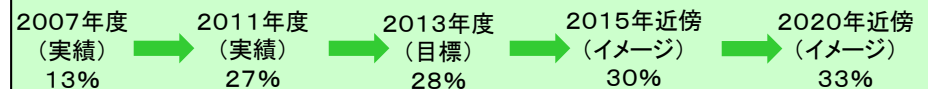
- 世界初「完全バイオマス原料由来ポリエステル繊維」試作成功。
- 味の素(株)と「バイオベースナイロン」共同研究契約を締結。



グリーンイノベーション事業の売上高推移



グリーンイノベーション事業の売上高の割合



アジア・新興国事業拡大(AE)プロジェクト

今後大きな経済成長が見込まれるアジアやその他地域の新興国で、当社グループの事業を積極的に展開し、当該国・地域の成長を取り込む

<トピックス>

<中国>

- 人工腎臓及び人工透析機器生産工場新設を決定。



トレライト®NV

- 上海で繊維以外の分野の研究・開発拠点を強化。

<韓国>

- リチウムイオン電池用バッテリーセパレータ製造設備の増設を決定。

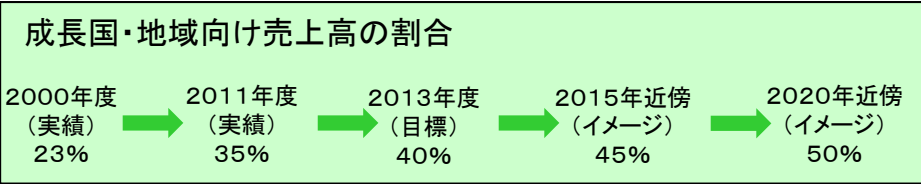
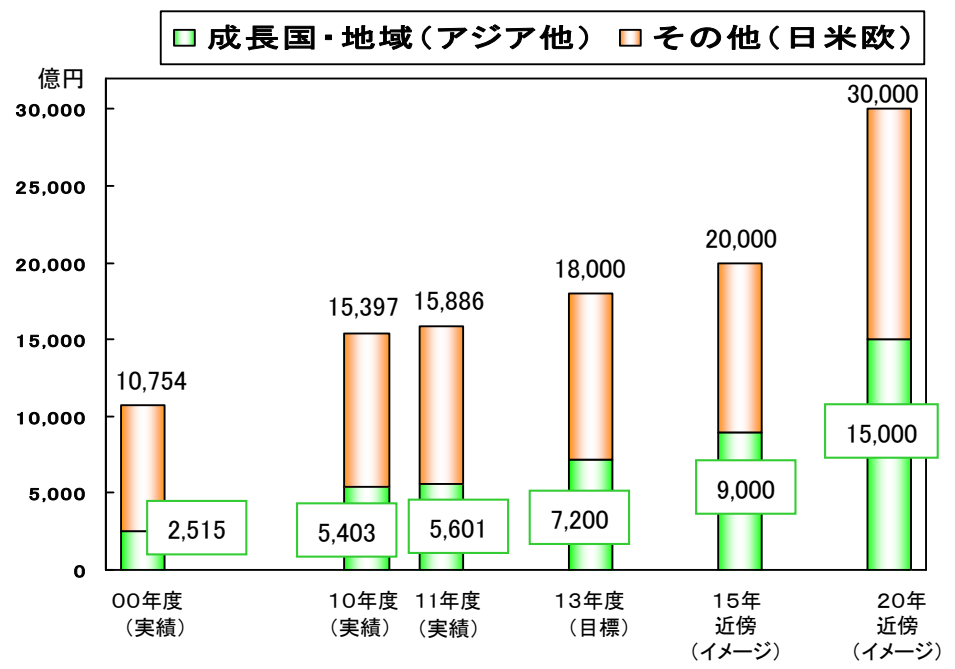
<ASEAN>

- インドネシアで乳幼児用紙おむつ向け高性能ポリプロピレン長繊維不織布事業開始を決定。

<新興国>

- インドに事務所を設立し、ブラジルでは拠点新設を決定。

成長国・地域向け売上高の推移



トータルコスト競争力強化(TC-Ⅱ)プロジェクト

強靱な企業体質を確保するために、グループ横断プロジェクトを立ち上げて以下の課題に取り組む

比例費削減 “VCI-10(Variable Cost Innovation 10%)”プロジェクトを実行

- ◆原単位改善は、国内工場で培った改善手法を国内外関係会社へ展開
- ◆購買VAは、事業戦略と一体化したコスト削減を実行
- ◆購買物流部門は、現場の購買VA活動を支援するとともに、グローバル調達体制構築に取り組む

毎年3%以上、
3年間合計で
10%(約700億円)
以上の比例費削減

2011年度実績
前年対比3.6%、
241億円を削減

固定費削減

- ◆事業拡大局面での固定費の適正管理を実施
- ◆P値*を導入し、固定費増加に見合った利益確保を確認
- ◆業務効率化などの体質強化の施策を継続して定着化

2011年度実績
予算比143億円
を削減
P値=0.98

* : P(Performance)値 = 固定費増加率 / 限界利益増加率 1.0以下もしくは予算との対比で事業毎に管理

業績指標の目標

<億円>

	2010年度
売上高	15,397
基幹事業 戦略的拡大事業、 重点育成・拡大事業	9,664 (63%) 5,733 (37%)
成長国・地域向け	5,403 (35%)
グリーン イノベーション事業	3,780 (25%)

	2011年度
売上高	15,886
基幹事業 戦略的拡大事業、 重点育成・拡大事業	10,362 (65%) 5,524 (35%)
成長国・地域向け	5,601 (35%)
グリーン イノベーション事業	4,282 (27%)

	2013年度 (目標)
売上高	18,000
基幹事業 戦略的拡大事業、 重点育成・拡大事業	10,000 (56%) 8,000 (44%)
成長国・地域向け	7,200 (40%)
グリーン イノベーション事業	5,000 (28%)

()内は、売上高に対する比率

営業利益	1,001
営業利益率	6.5%

営業利益	1,077
営業利益率	6.8%

営業利益	1,500
営業利益率	8.3%

ROA	6.4%
ROE	10.9%

ROA	6.8%
ROE	10.5%

ROA	8%
ROE	11%

ROA=営業利益／総資産
ROE=当期純利益／自己資本

2013年度(目標)前提:
為替レート 80円／US\$
原油価格 95US\$／B
(DUBAI FOB)

営業利益の推移

(億円)

3,500

3,000

2,500

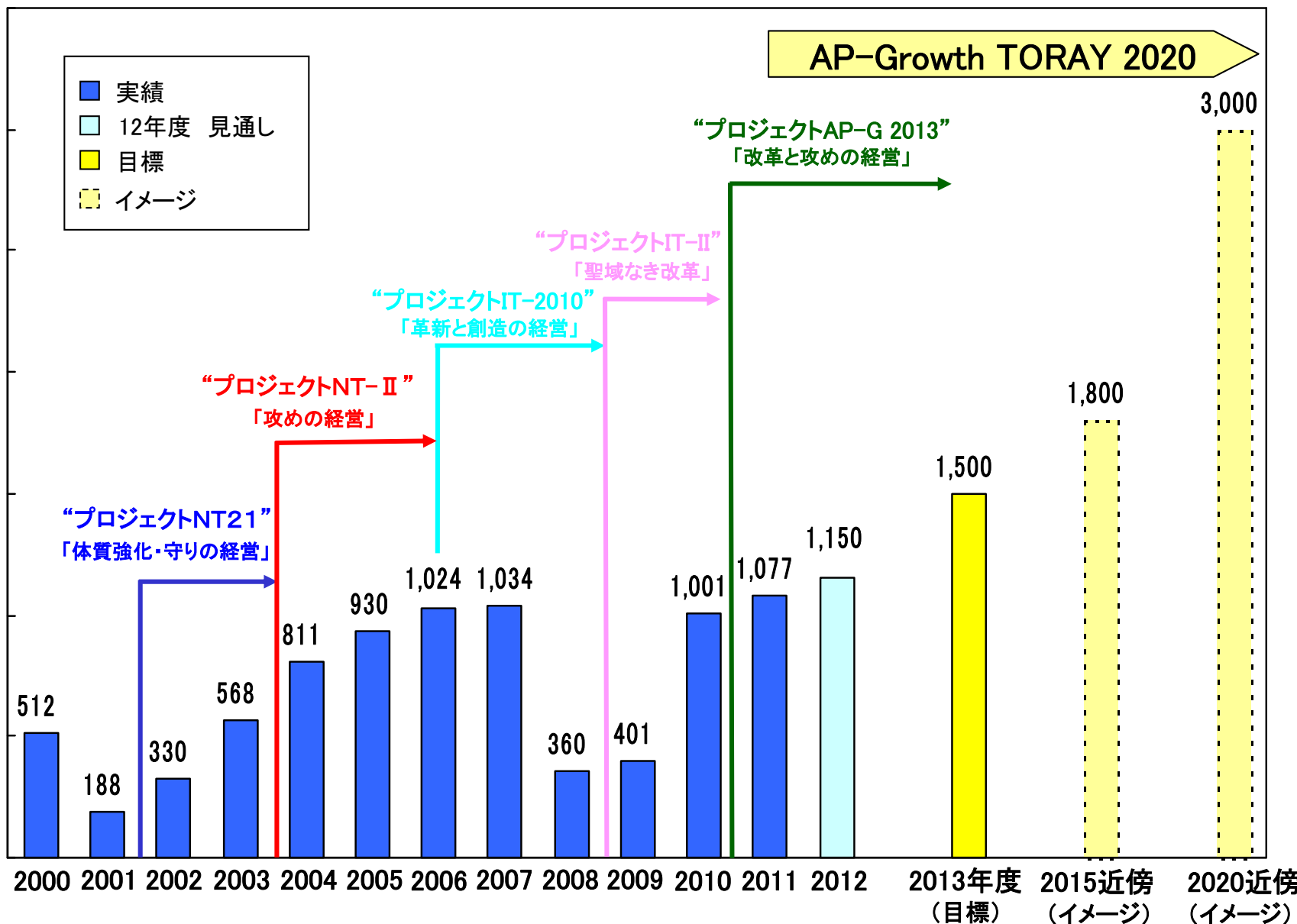
2,000

1,500

1,000

500

0



本資料中の2013年3月期の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。